



## ■卒業生アンケート傾向分析【2021～2023 年度】

### 目的

卒業生にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：卒業生全員（卒業後 3 年に至る方。留学生を除く。）

調査方法：調査対象者に調査内容及び回答用 QR コードを記載した往復はがきを送付し、はがき及び web 回答フォームで回収した。

	2023 年度	2022 年度	2021 年度
発送数 a	499	561	584
住所不明 b	66	69	65
回収数 c	39 (はがき 18+web21)	29	29
回収率 c/(a-b)	9.0% (はがき 4.2% web4.8%)	5.9%	5.6%

### 結果の概要

- ・回答者の多くは東京都又は千葉県企業に就業しており、業種は多岐に渡る。
- ・2023 年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が増加した。
- ・2023 年度は転職経験者のうち約 3 割が 2 回以上の転職を経験している。
- ・離職のタイミングは、2022 年度は初年度で離職する者はいなかったが 2023 年度は入社初年度の離職率が最も高く、早期離職の傾向がみられた。これは入社初年度（2020 年度）に新型コロナウイルス感染症が流行したことと少なからず関係があるのではないかと推測される。
- ・転職未経験者の多くが、就職情報サイト等外部の媒体を活用して求人情報を収集している。その一方で、「もともと就きたい職業だった」及びこれに類する回答が、その他を選択したうちの 4 割以上を占めた。在学中に「なりたいじぶん」に近づこうとする学生の頑張り及び、卒業後にも継続して努力している姿が伺える。
- ・2021～2023 年度の傾向として、「問題解決力」「自己管理能力」「チームワーク・リーダーシップ」を身につけることが、就業力を向上させると考える卒業生が多い。これは浦安市内企業に向けたアンケートのうち、本学の教育内容に求めることの上位 3 回答とリンクするものである。

### 分析・対策等

- ・大学企業セミナーにより就職先を選択した卒業生が一定数いるが、数が少ないことから、求人開拓や企業セミナー等のイベントを開催し、企業とのパイプ作りを強化する必要がある。
- ・就業先への定着率を高めるため、在学中に納得感のある進路先決定のサポートや、内定者へのフォローが必要である。
- ・就業力を向上させるため、問題解決力を始めとした人間性をみがくことはもちろん、業務に直結する語学やデータサイエンスについての教育の強化が必要である。

### 詳細

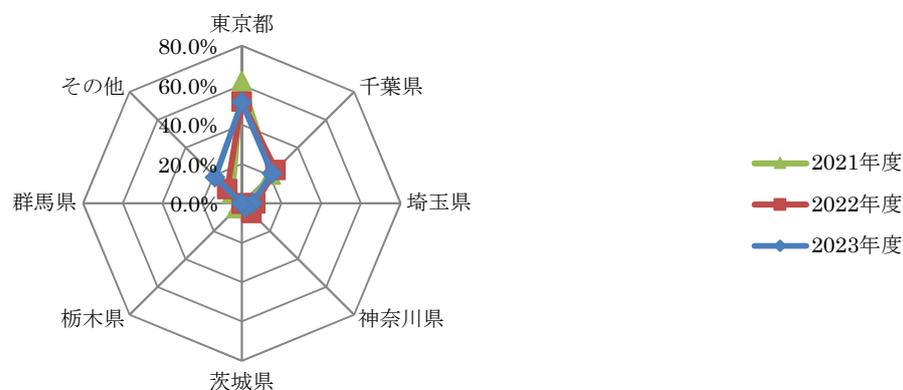
※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

## 1 就業状況

### (1) 事業所等の所在地

2023年度は、過年度と同様に回答者の多くが本学所在地（浦安キャンパス）に近い東京都又は千葉県で就業中である。（図1-1）

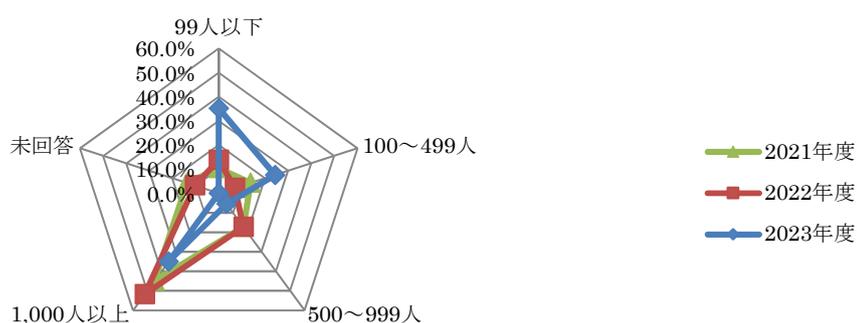
**図1-1 事業所等の所在地**



### (2) 従業員数

2023年度は、「99人以下」と「1,000人以上」の回答者が最も多く、過年度よりも規模が小さい事業所等で就業している者の割合が増えた。（図1-2）

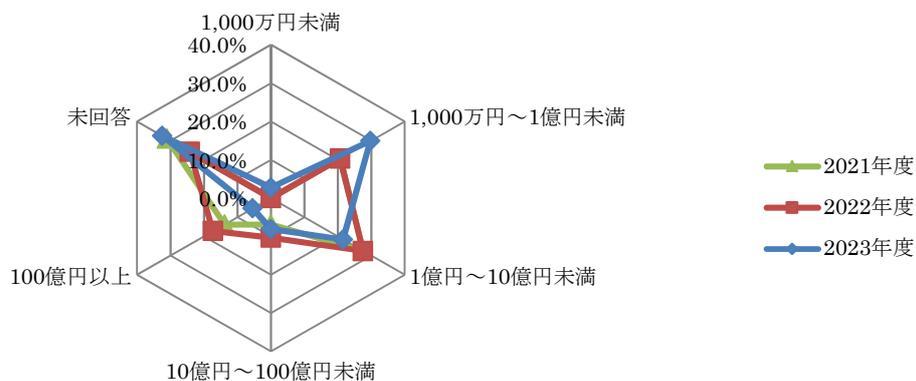
**図1-2 従業員数**



### (3) 資本金

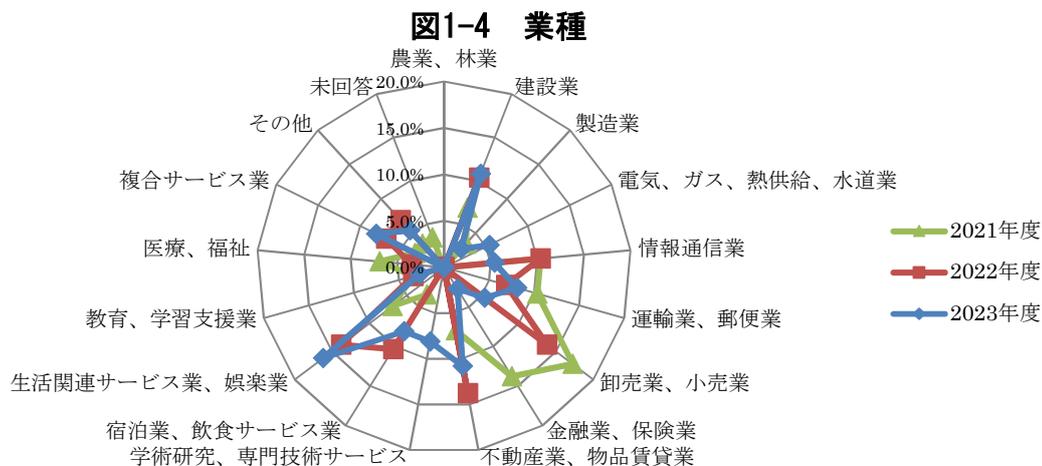
2023年度は「1,000万円以上～1億円未満」の回答者が最も多く、過年度よりも規模が小さい事業所等で就業している者の割合が増えた。（図1-3）

**図1-3 資本金**



(4) 業種

過年度と同様に、様々な業種に就業しているが、2023年度は「生活関連サービス業、娯楽業」「不動産業、物品賃貸業」「建設業」に従事する卒業生が多かった。(図1-4)

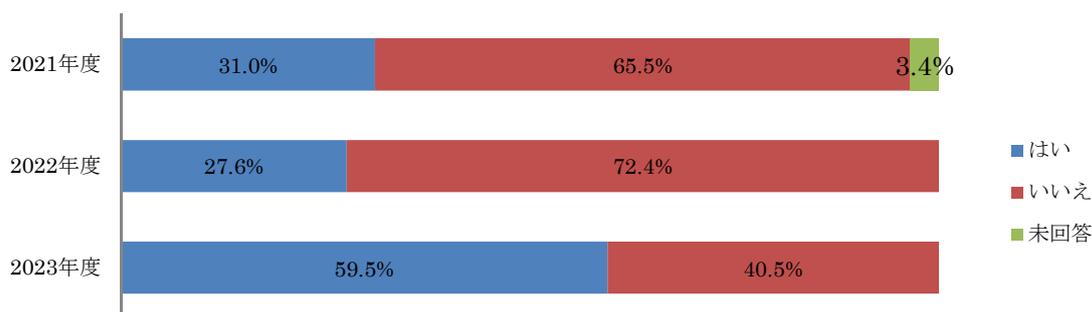


2 転職経験

(1) 転職経験の有無

2023年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が増加した。(図2-1)

**図2-1 転職経験の有無**

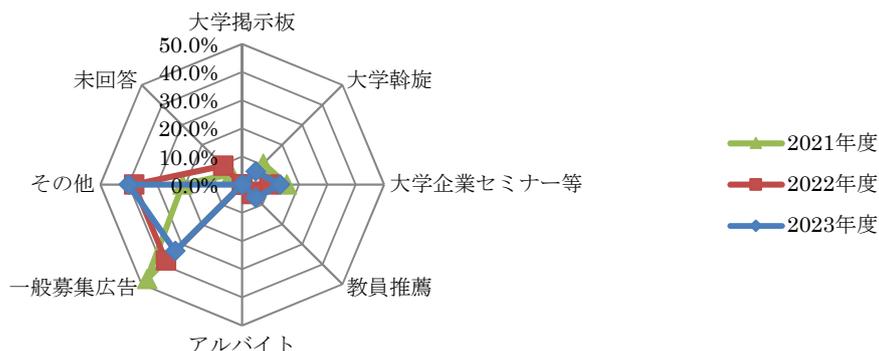


(2) 転職経験「なし」回答者への設問

ア 現在の就職先を選んだきっかけ

2023年度は、就職情報サイト等外部の媒体を活用して就職先を選択した回答者が過年度同様に多かった。「その他」では「もともと就きたい職業だった」及びこれに類する回答が4割を超え、「なりたいじぶん」に近づこうとする学生の頑張りが伺える(図2-2)

**図2-2 企業選択のきっかけ**

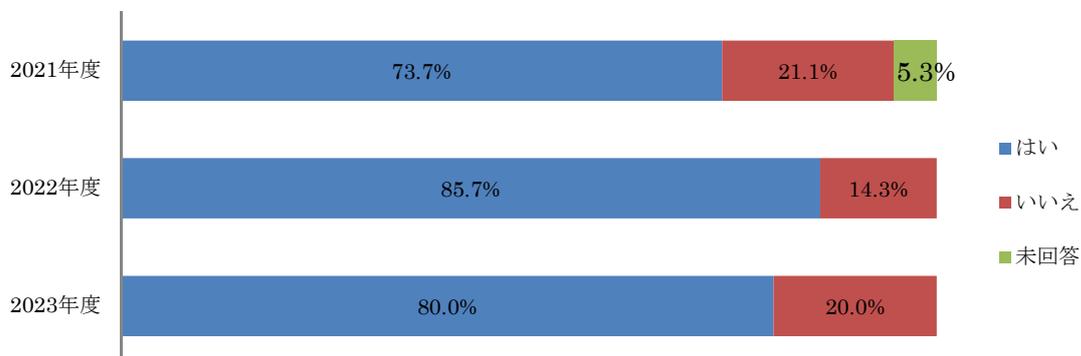


イ 大学で学んだ教養教育の活用

2022 年度から 8 割以上が大学で学んだ教養教育が活かしていると回答している。

(図 2-3)

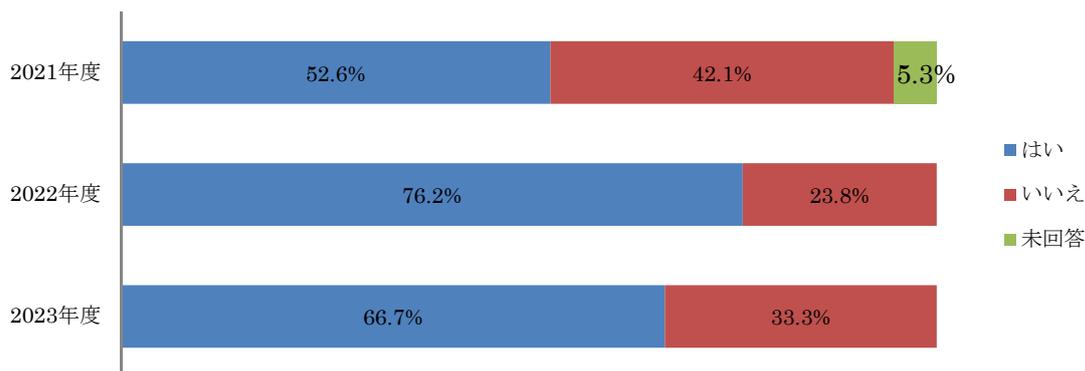
図2-3 教養教育の活用



ウ 大学で学んだ専門教育の活用

2023 年度は大学で学んだ専門教育を活かしていると回答した割合が昨年と比べて約 1 割減少した。(図 2-4)

図2-4 専門教育の活用

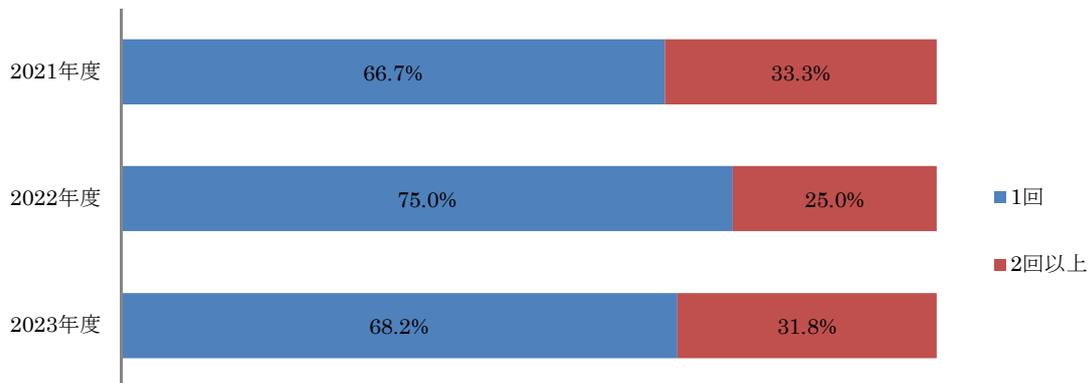


(3) 転職経験「あり」回答者への設問

ア 転職回数

2023 年度は 2 回以上の転職を経験している割合が 2022 年度に比べて増加した。(図 2-5)

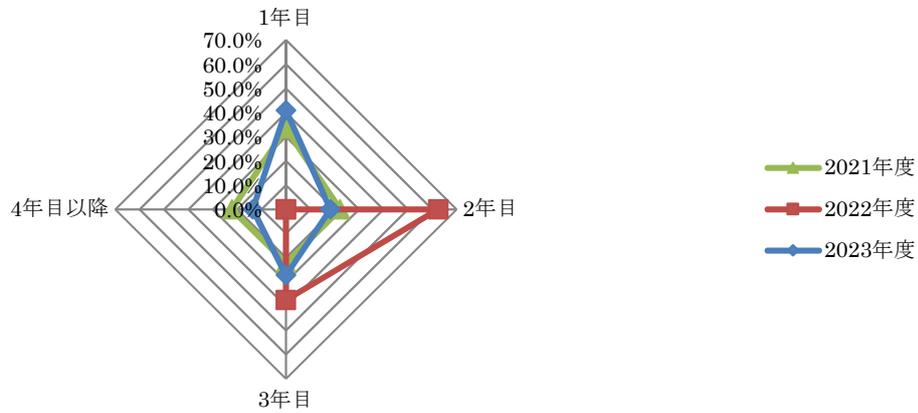
図2-5 転職回数



### イ 初めての就職先を離職した時期

2022年度は初年度で離職することなく、2年目で6割以上が離職していた。2023年度は入社初年度の離職率が最も高く、早期離職の傾向がみられた。これは、2023年度調査対象者が新卒として入社した年が2020年であり新型コロナウイルス感染症が流行したことに少なからず影響を受けているのではないかと推測される（図2-6）

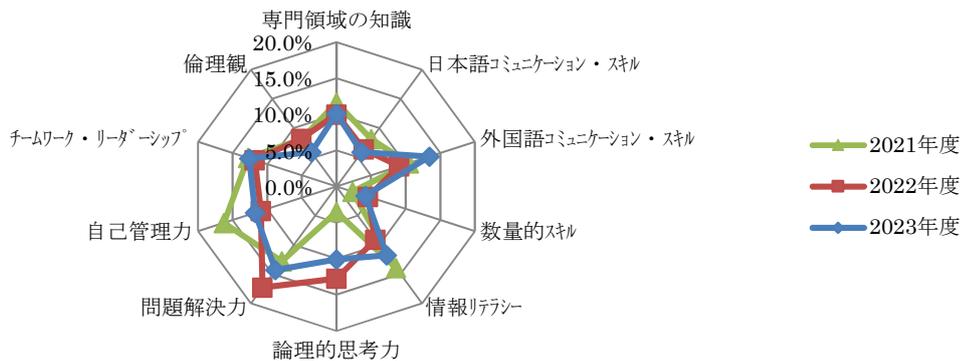
図2-6 離職の時期



### 3 就業力を向上させる取組み

2023年度に最も回答が多かったのは「問題解決力」であった。一方で、「数量的スキル」は過年度と同様に最も回答が少なかった。また、昨年と比べて「外国語コミュニケーション・スキル」と「情報リテラシー」が大きく伸びる結果となった。3か年の傾向として「問題解決力」「自己管理能力」「チームワーク・リーダーシップ」を身につけることが就業力を向上させると考える卒業生が多い。（図3）

図3 就業力を向上させる取組み



### 4 添付資料

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果（2023年度）

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果（2023年度）

1 発送対象等

2019年度卒業生全員（卒業後3年に至る方。留学生を除く。）

対象者数：499名

2 発送数・回収状況等

発送数 a	499
住所不明 b	66
回収数 c	39
回収率 $c/(a-b)$	9.0%

3 現在の就業状況

回答があった39名のうち37名（94.9%）が就職している。

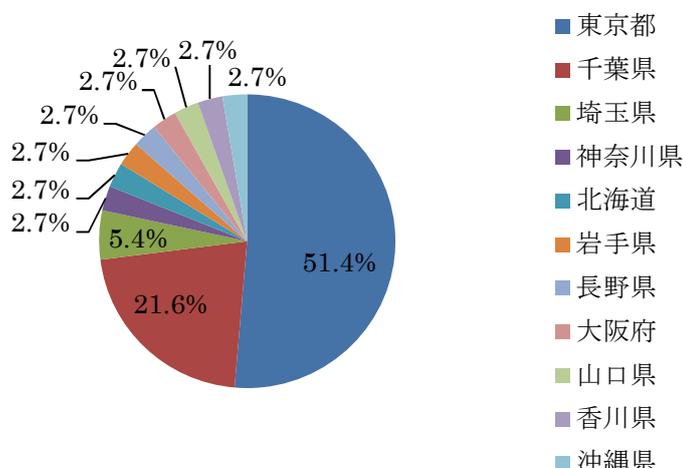
I 基礎項目 現在の就業状況

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

1 事業所等の所在地

事業所等の所在地は、「東京都」が最も多く19件（51.4%）、次いで「千葉県」の8件（21.6%）となり、合わせると7割以上が本学所在地（浦安キャンパス）から近い東京都又は千葉県で就業している。

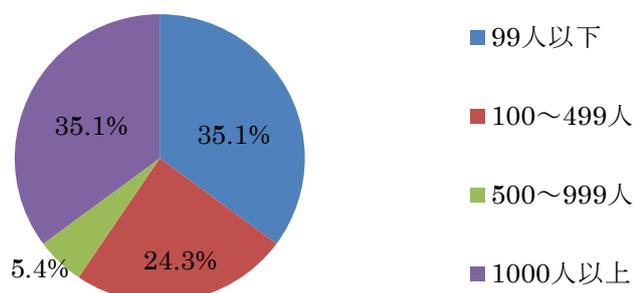
都道府県	回答数
東京都	19
千葉県	8
埼玉県	2
神奈川県	1
北海道	1
岩手県	1
長野県	1
大阪府	1
山口県	1
香川県	1
沖縄県	1
合計	37



2 従業員数

従業員規模別では、「99人以下」と「1,000人以上」が同数13件（35.1%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、3人（岩手県／学術研究、専門・技術サービス業）で、最も多かったのは、60,000人（東京都／教育、学習支援業）であった。

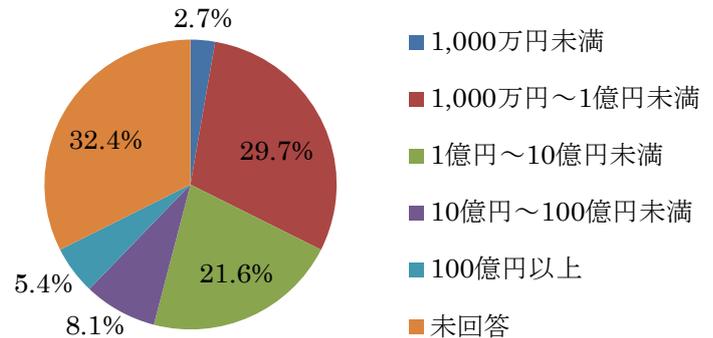
従業員数	回答数
99人以下	13
100～499人	9
500～999人	2
1,000人以上	13
合計	37



### 3 資本金

資本金規模別では、「未回答」を除く回答のうち、「1,000万円～1億円未満」が最も多く11件（29.7%）、次いで「1億円～10億円未満」の8件（21.6%）であった。回答のうち、資本金の最小額は100万円（千葉県／不動産業、物品賃貸業）で、最大額は632億円（千葉県／複合サービス事業）であった。

資本金	回答数
1,000万円未満	1
1,000万円～1億円未満	11
1億円～10億円未満	8
10億円～100億円未満	3
100億円以上	2
未回答	12
合計	37



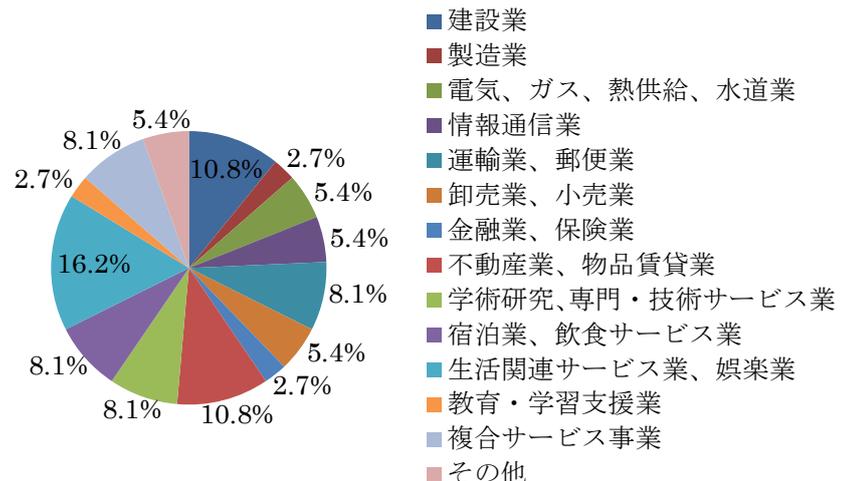
### 4 業種

現在就業している企業等の業種については、「その他」の回答を除き13業種に分布が見られた。

最も多かった業種は、「生活関連サービス業、娯楽業」の6件（16.2%）であった。なお、「その他」の業種として、人材派遣・紹介事業などの回答があった。

一方、「農業・林業」・「漁業」・「鉱業・採石業・砂利採取業」「医療、福祉」の4業種については、該当がなかった。

業種	回答数
建設業	4
製造業	1
電気、ガス、熱供給、水道業	2
情報通信業	2
運輸業、郵便業	3
卸売業、小売業	2
金融業、保険業	1
不動産業、物品賃貸業	4
学術研究、専門・技術サービス業	3
宿泊業、飲食サービス業	3
生活関連サービス業、娯楽業	6
教育・学習支援業	1
複合サービス事業	3
その他	2
合計	37

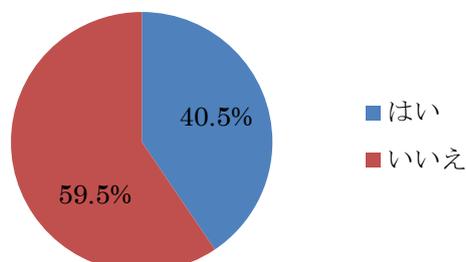


## II 調査項目

### 1 現在の企業（団体等）に、卒業後最初に就職した。

卒業後最初に就職した企業（団体等）に継続して勤務している者は15件（40.5%）であった。一方、卒業後最初に就職した企業（団体等）ではないと回答した者は22件（59.5%）となり、回答者の約6割が転職経験者であることがわかった。

回答	回答数
はい	15
いいえ	22
合計	37

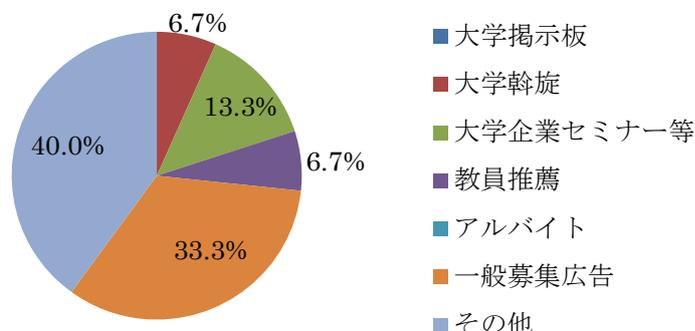


II-1で「はい」と回答された方（算出母数 15）：

(1) この企業を選んだきっかけは何ですか。

最も多かったのは、「一般募集広告」の 5 件（33.3%）であり、学生が企業情報の主な情報源として就職情報サイト等外部の媒体を活用し主体的に動いていることがわかる。一方で、「大学企業セミナー等」との回答もあり、学内における企業と学生のマッチングの効果が出ていることがわかる。また、その他の回答として「もともと就きたい職業だったから。」「業界・会社の業務内容が好きだったため。」などがあった。

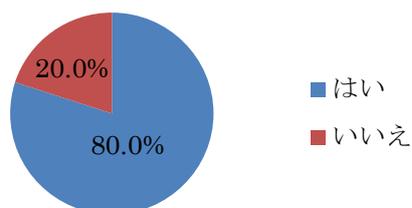
企業を選んだきっかけ	回答数
大学掲示板	0
大学幹旋	1
大学企業セミナー等	2
教員推薦	1
アルバイト	0
一般募集広告	5
その他	6
合計	15



(2) この企業は大学での教養教育が活かしていますか。

大学での教養教育が活かしていると回答した者が 12 件（80.0%）と、活かしていないと回答する者 3 件（20.0%）を上回った。

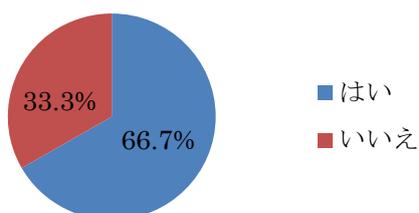
回答	回答数
はい	12
いいえ	3
合計	15



(3) この企業は大学での専門教育が活かしていますか。

大学での専門教育が活かしていると回答した者が 10 件（66.7%）と、活かしていないと回答する者 5 件（33.3%）を上回った。

回答	回答数
はい	10
いいえ	5
合計	15

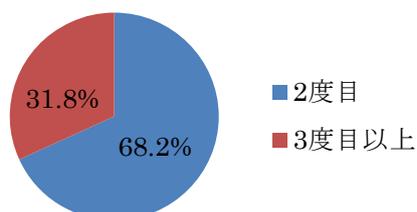


II-1で「いいえ」と回答された方（算出母数 22）：

(1) 現在の企業は何度目の就職になりますか。

回答者のうち「2度目」の就職と回答した者が 15 件（68.2%）と、「3度目以上」と回答する者 7 件（31.8%）を上回った。

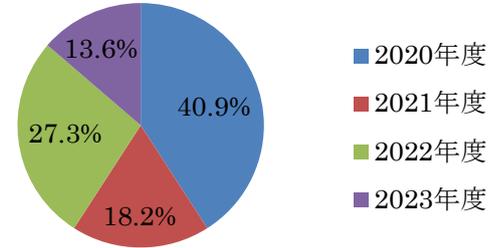
回答	回答数
2度目	15
3度目以上	7
合計	22



(2) 最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

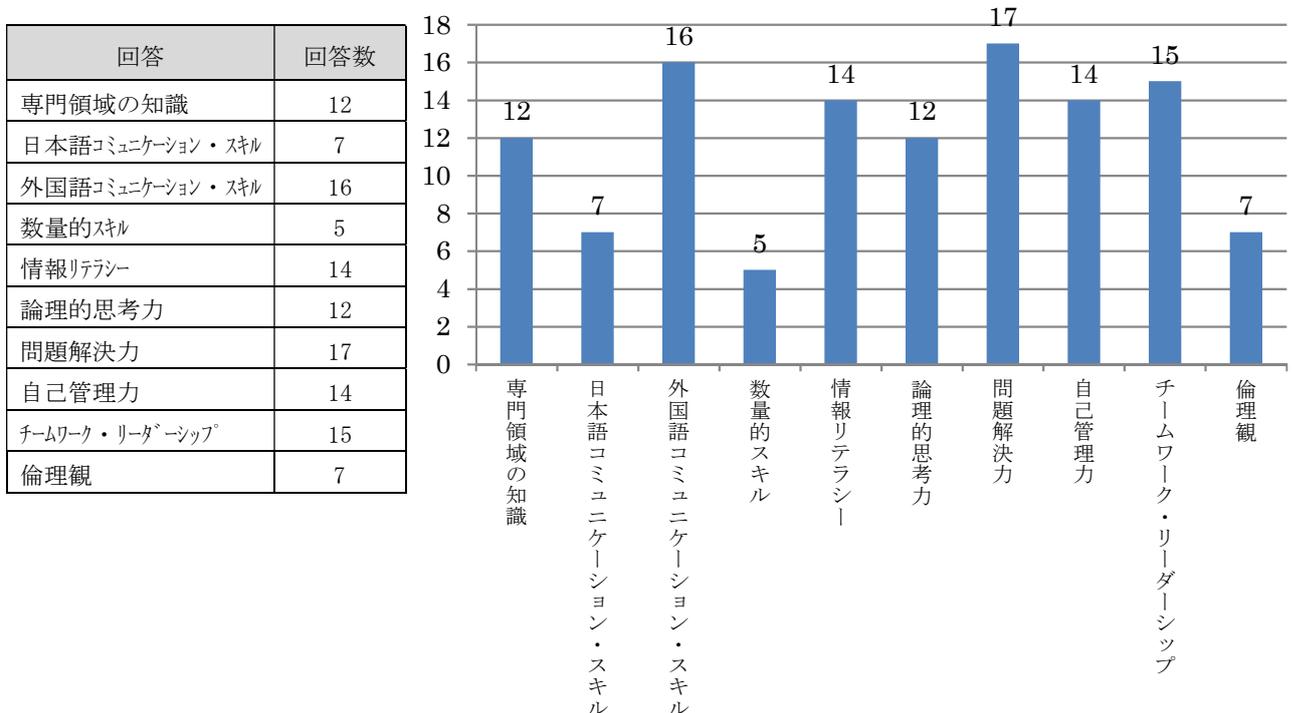
回答者のうち、「2020年度（入社1年目）」に退職した者が9件（40.9%）と最も多かった。就業者（母数37）に占める3年以内の転職者（母数19）の割合は51.4%であった。今回の調査では厚生労働省が発表した令和2年3月新規大卒就職者の就職後3年以内離職率の32.3%を上回っていることから、在学中にいかに関内定企業とのミスマッチを防ぐかが鍵となりそうである。

退職年度	回答数	備考（退職月内訳）
2020年度（初年度）	9	2020年 4月 1名 2020年 5月 2名 2020年 8月 1名 2020年 11月 2名 2020年 12月 1名 2021年 1月 1名 2021年 3月 1名
2021年度（2年目）	4	2021年 8月 1名 2021年 12月 2名 2022年 3月 1名
2022年度（3年目）	6	2022年 7月 1名 2022年 9月 1名 2022年 12月 1名 2023年 1月 1名 2023年 3月 1名 他、2022年退職月不明 1名
2023年度（4年目）	3	2023年 11月 1名 2023年 12月 1名 2024年 3月 1名
合計	22	



2 明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みとして必要と思われるものを選んでください。（複数回答可）

就業力向上のための取り組みとして必要なものに「問題解決力」を挙げた者が17件（回答者の43.6%）と最も多く、次いで「外国語コミュニケーション・スキル」の16件（回答者の41.0%）であった。一方で最も少なかったのは「数量的スキル」の5件（回答者の12.8%）であった。



## 明海大学卒業生に関するアンケート調査

以下の質問について、ご記入又は適当と思われる項目の番号を○で囲んでください。

### I. 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

1. 所在地： 都道府県（ご回答いただく貴社の所在地）

2. 従業員数： 約 人（貴社全体の人数）

3. 資本金： 万円

4. 業種： 1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. その他（ ）

5. 現在の明海大学卒業生の在職者数（大学院修了生を含む）： 人

### II. 調査項目 明海大学卒業生の印象などをお伺いいたします。

1. 採用に当たってどのような点を重視しますか。

（次の3項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5非常に重視、4やや重視、3普通、2余り重視しない、1重視しない）

1) 学力（専門・基礎） 5・4・3・2・1

2) 職務能力の適性 5・4・3・2・1

3) 人間性（積極性・協調性など） 5・4・3・2・1

4) その他（自由記入） \_\_\_\_\_

2. 明海大学卒業生の印象について、どのように評価されていますか。

（次の8項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5優れる、4やや優れる、3普通、2やや劣る、1劣る）

1) 仕事に対する知識・基礎学力 5・4・3・2・1

2) 仕事に対する理解・判断力 5・4・3・2・1

3) 仕事に対する職務遂行能力 5・4・3・2・1

4) 対人関係、仕事の協調性 5・4・3・2・1

5) コミュニケーション能力 5・4・3・2・1

6) 責任感・粘り強さ・誠実性 5・4・3・2・1

7) 外国語（英語など）の能力 5・4・3・2・1

8) パソコン操作等の能力 5・4・3・2・1

9) その他（自由記入） \_\_\_\_\_

貴社名 \_\_\_\_\_

回答者の部署・役職 \_\_\_\_\_

## ■企業アンケート傾向分析【2021～2023 年度】

### 目的

卒業生を雇用いただいている企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：調査実施年度の前年度、前々年度に採用実績がある企業

調査方法：調査対象企業に調査内容及び回答用 QR コードを記載した往復はがきを送付し、はがき及び web 回答フォームで回収した。

	2023 年度	2022 年度	2021 年度
発送数 a	767	600	535
住所不明 b	16	23	17
回収数 c	184 (はがき 58+web126) ※	106	79
回収率 c/(a-b)	24.5% (はがき 7.7% web16.8%)	18.4%	15.3%

※回答 184 社のうち 8 社重複。それぞれの回答を 1 回答として集計した。

### 結果の概要

- ・回答企業の多くは東京都・千葉県に所在する中小企業で、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に「人間性」、「職務能力の適性」を非常に重視する企業が多く、学力は「普通」との回答が過半数を超える。しかし、学力を重視する割合は年々高まっている。
- ・卒業生の評価では、8 領域のうち「理解・判断力」、「職務遂行能力」、「対人関係・協調性」、「コミュニケーション能力」、「責任感・粘り強さ・誠実性」の 5 領域で 7 割以上の企業から「優れる・やや優れる」と評価されている。一方、「外国語運用能力」「パソコン操作能力」の評価が低い。

### 分析・対策等

- ・各設問に対する回答の傾向は過年度と変化なし。
- ・採用に当たって学力を重視する企業が増えており、採用選考時に SPI 等筆記試験を課す企業も多いことから、低学年からの基礎学力の強化については継続が必要である。
- ・毎年の傾向として、人間性と比べ職務上で必要となる技術面での評価が低いことから、実践に即した語学力やパソコン操作能力の強化が今後も継続して必要である。

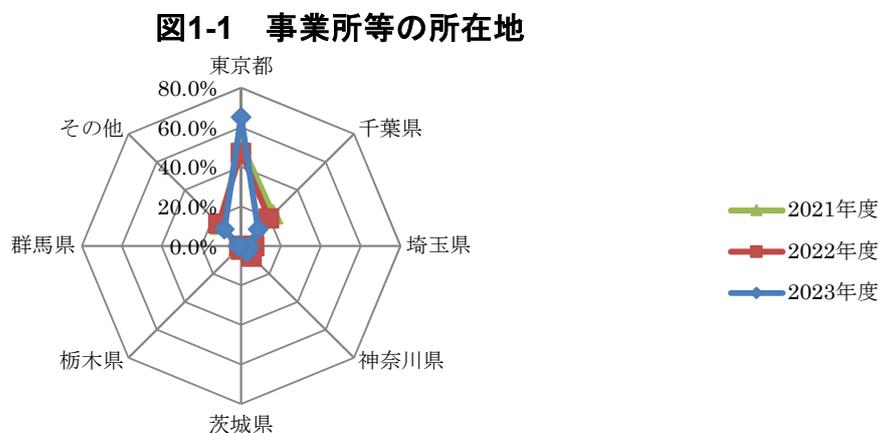
### 詳細

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

## 1 企業情報

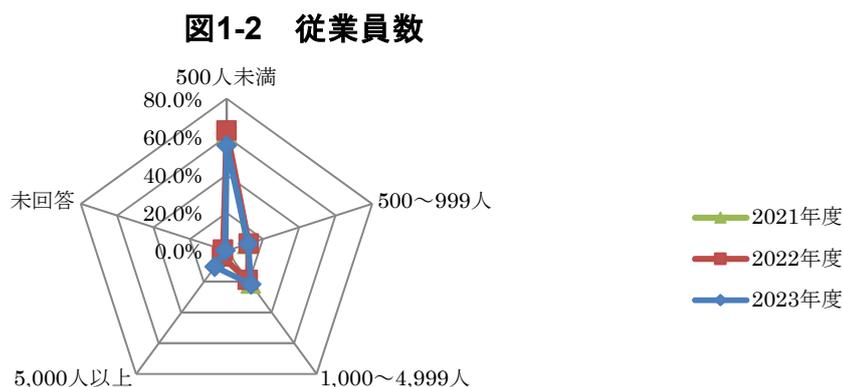
### (1) 事業所等の所在地

2023年度は、過年度と同様に回答企業の多くが「東京都」又は「千葉県」に所在する企業である。(図1-1)



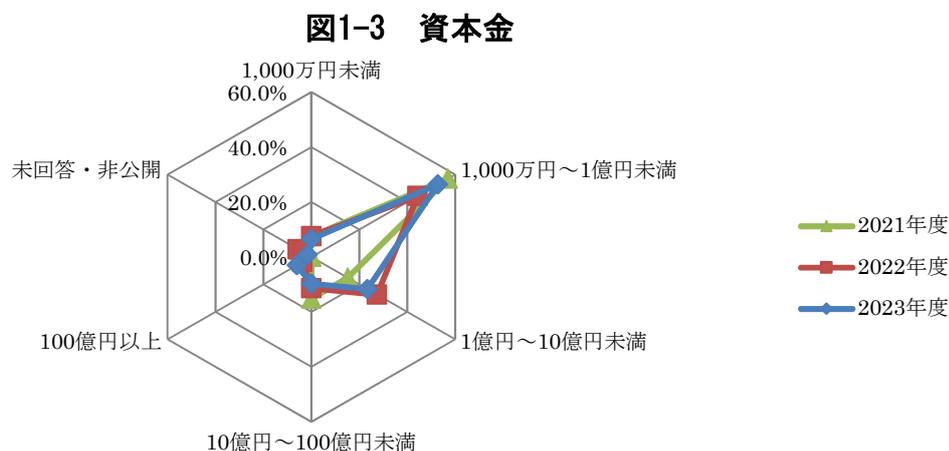
### (2) 従業員数

2023年度は、過年度と同様に回答企業の多くが従業員数「500人未満」の中小企業である。(図1-2)



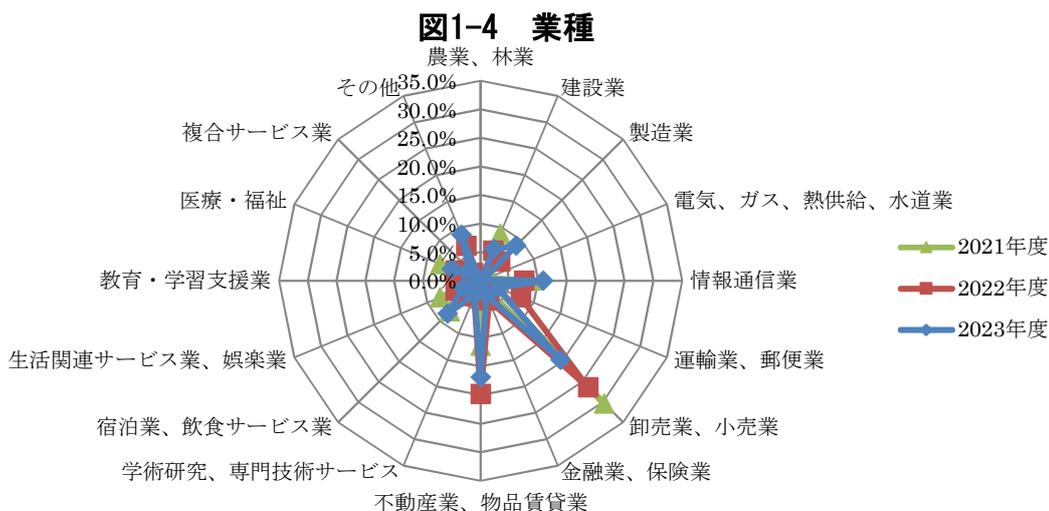
### (3) 資本金

2023年度は、過年度と同様に資本金「1,000万円～1億円未満」の企業が最も多い。(図1-3)



(4) 業種

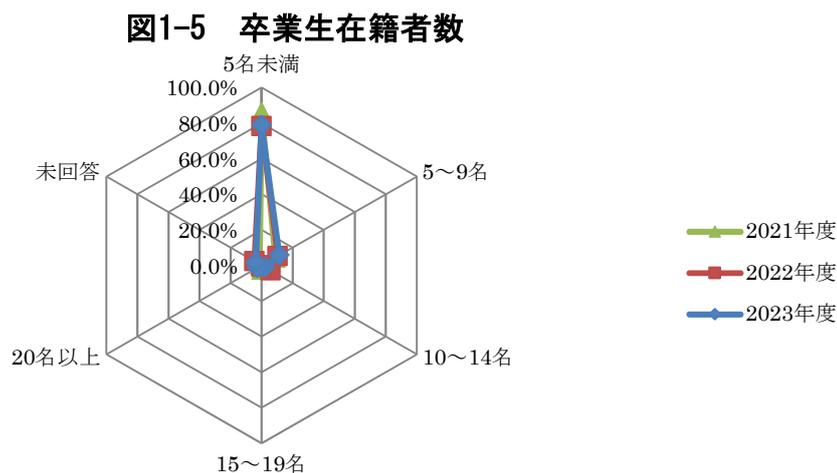
2023年度は、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。(図1-4)



(5) 卒業生在籍者数

2023年度は、過年度と同様に「5名未満」の企業が最も多く、約8割を占めた。

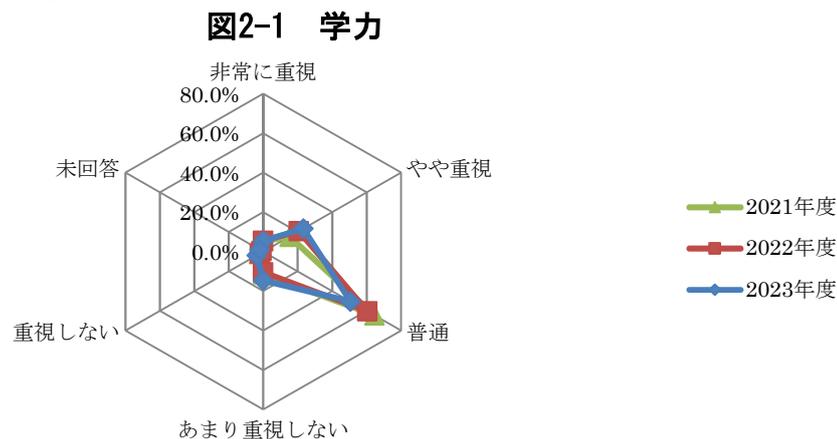
(図1-5)



2 採用に当たって重視する点

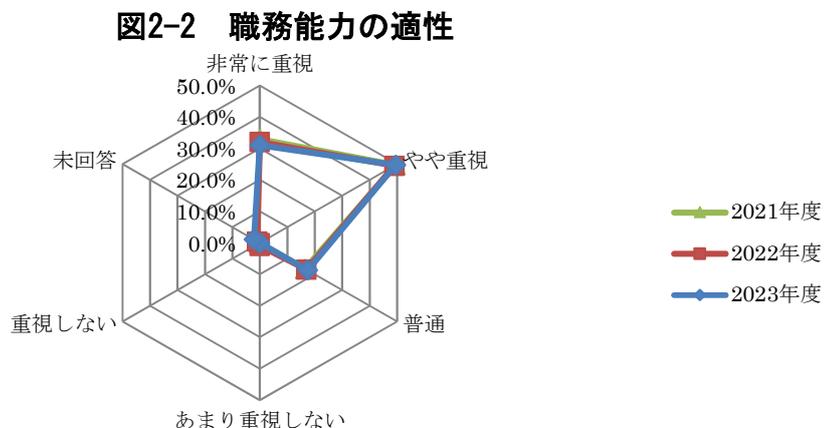
(1) 学力 (専門・基礎)

2023年度回答企業の約7割が「普通・あまり重視しない・重視しない」傾向にあり、過年度と同様である。一方で、「非常に重視・やや重視」が2021年度と比べると8.5ポイント高くなっている。(図2-1)



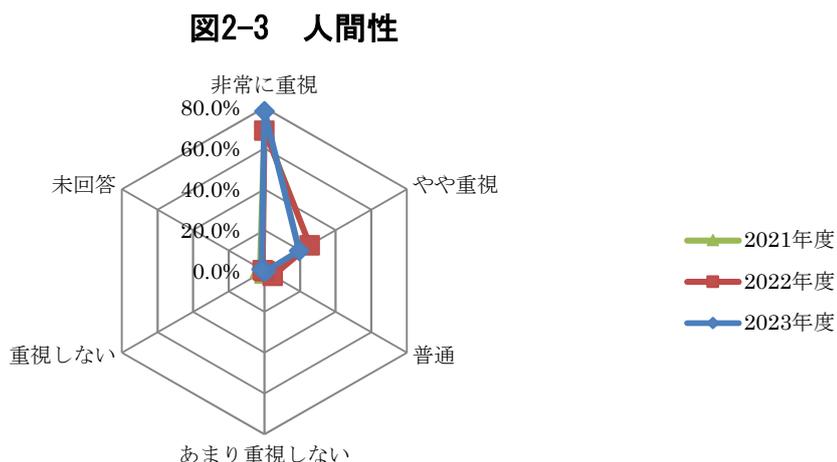
(2) 職務能力の適性

2023年度回答企業の8割以上が「非常に重視・やや重視」する傾向にあり、過年度と同様である。(図2-2)



(3) 人間性 (積極性・協調性など)

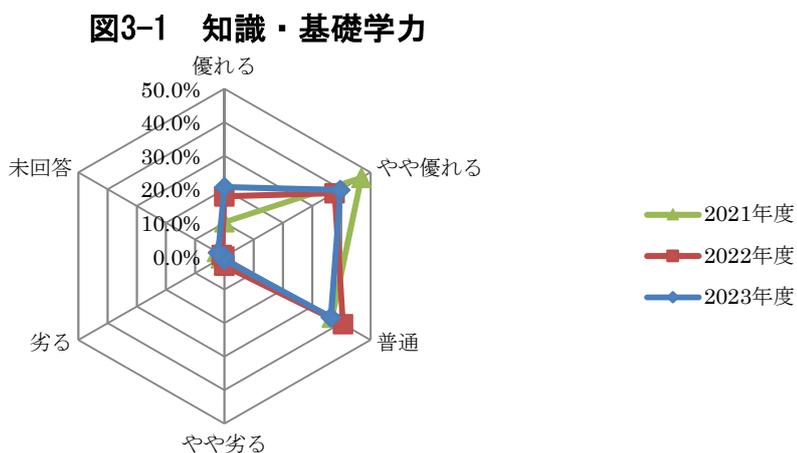
2023年度回答企業の9割以上が「非常に重視・やや重視」する傾向にあり、中でも「非常に重視」については3か年で最も割合が高かった。(図2-3)



3 卒業生の評価

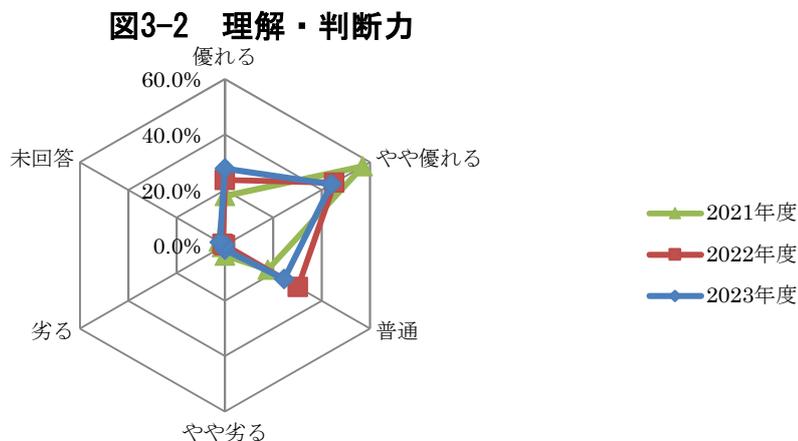
(1) 知識・基礎学力

2023年度は、「優れる・やや優れる」との評価が約6割を占め、過年度と同様である。中でも「優れる」については3か年で最も割合が高かった。(図3-1)



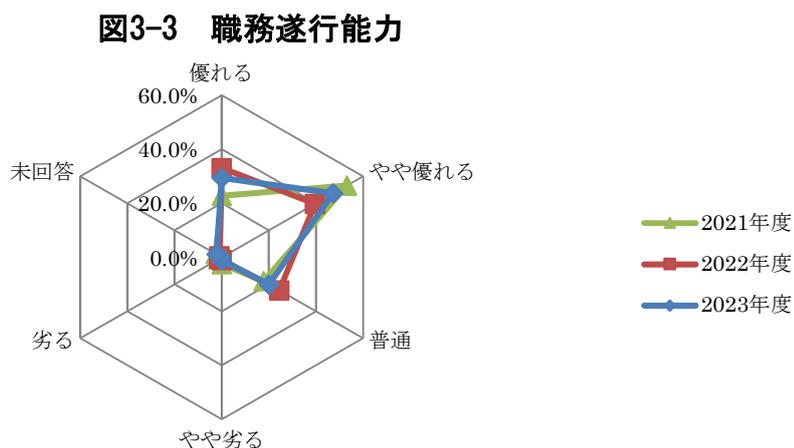
(2) 理解・判断力

2023年度は、7割以上の企業に「優れる・やや優れる」と評価されており、中でも「優れる」については3か年で最も割合が高かった。(図3-2)



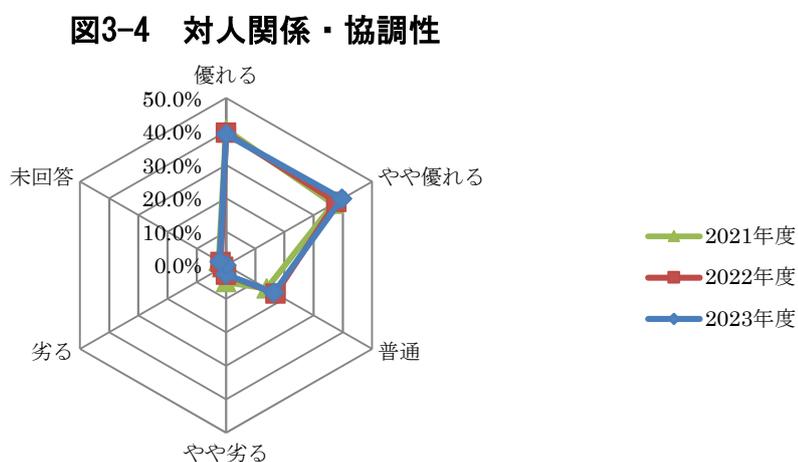
(3) 職務遂行能力

2023年度は、8割弱の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と評価に変化はなかった。(図3-3)



(4) 対人関係・協調性

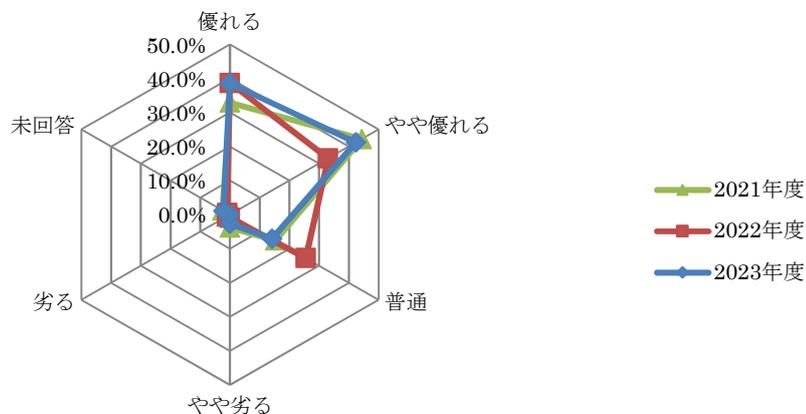
2023年度は、8割弱の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と評価に変化はなかった。(図3-4)



(5) コミュニケーション能力

2023年度は、8割以上の企業が「優れる・やや優れる」と回答し、過年度よりも高い評価を受けた。(図3-5)

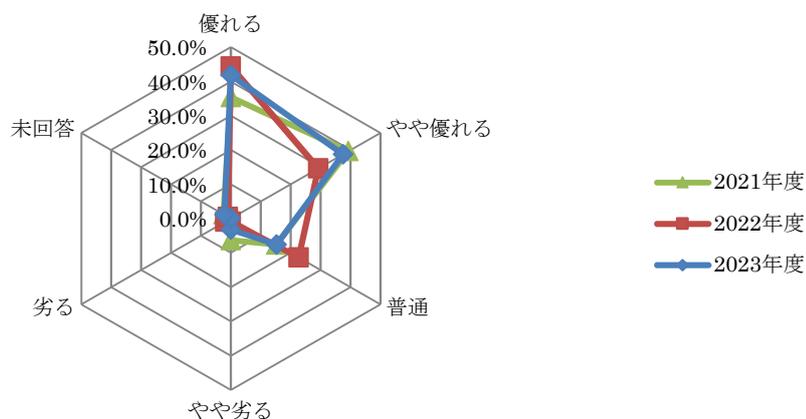
図3-5 コミュニケーション能力



(6) 責任感・粘り強さ・誠実性

2023年度は、8割弱の企業が「優れる・やや優れる」と回答し、過年度よりも高い評価を受けた。(図3-6)

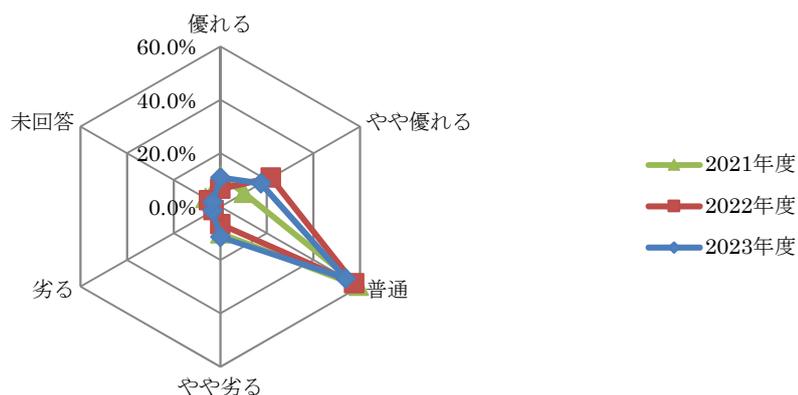
図3-6 責任感・粘り強さ・誠実性



(7) 外国語運用能力

2023年度は、「普通」との回答が半数以上を占め、過年度と評価に変化はなかった。(図3-7)

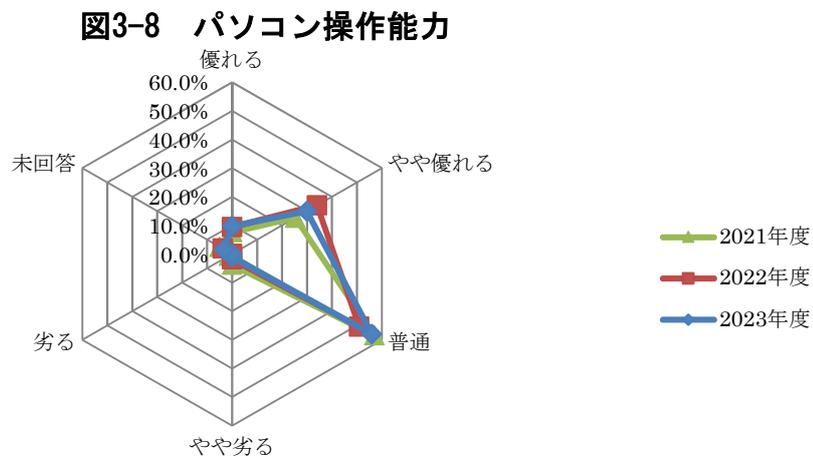
図3-7 外国語運用能力



(8) パソコン操作能力

2023 年度は、「普通」との回答が半数以上を占め、過年度と評価に変化はなかった。

(図 3-8)



4 添付資料

明海大学卒業生に関するアンケート調査集計結果 (2023 年度)

明海大学卒業生に関するアンケート調査集計結果（2023 年度）

1 発送対象等

2021 年度から 2022 年度までの採用実績がある企業 767 社

2 発送数・回収状況等

発送数 a	767
住所不明 b	16
回収数 c ※	184
回収率 c/(a-b)	24.5%

※回答 184 社のうち 8 社重複。それぞれの回答を 1 回答として集計した。

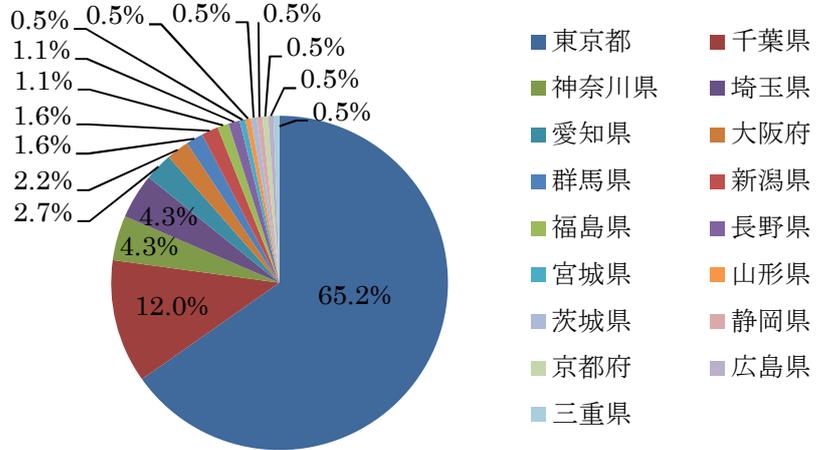
I 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1 所在地

企業の本社所在地は、「東京都」が最も多く 120 社（65.2%）であった。次いで、「千葉県」の 22 社（12.0%）であった。

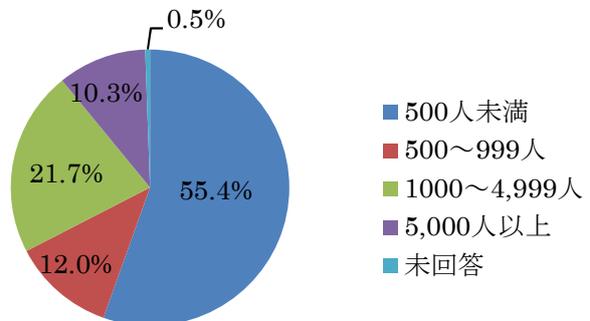
都道府県	回答数
東京都	120
千葉県	22
神奈川県、埼玉県	各 8
愛知県	5
大阪府	4
群馬県、新潟県	各 3
福島県、長野県	各 2
宮城県、山形県、茨城県、静岡県、京都府、広島県、三重県	各 1
合計	184



2 従業員数

従業員規模別では、「500 人未満」が最も多く 102 社（55.4%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、3 人（千葉県／医療、福祉）で、最も多かったのは 47,216 人（東京都／金融業、保険業）であった。

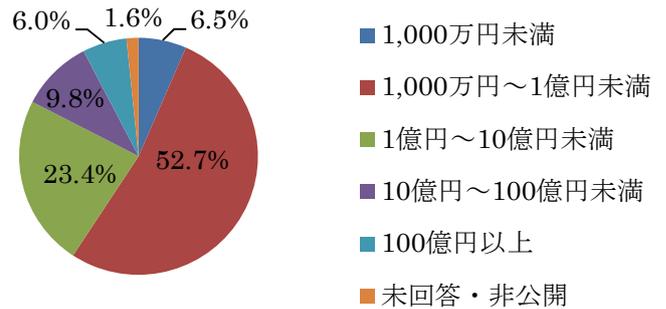
従業員数	回答数
500 人未満	102
500～999 人	22
1,000～4,999 人	40
5,000 人以上	19
未回答	1
合計	184



### 3 資本金

資本金規模別では、「1,000万円～1億円未満」が最も多く 97社（52.7%）であった。回答のうち、資本金の最大額は9,800億円（東京都／金融業、保険業）であった。

資本金	回答数
1,000万円未満	12
1,000万円～1億円未満	97
1億円～10億円未満	43
10億円～100億円未満	18
100億円以上	11
未回答・非公開	3
合計	184

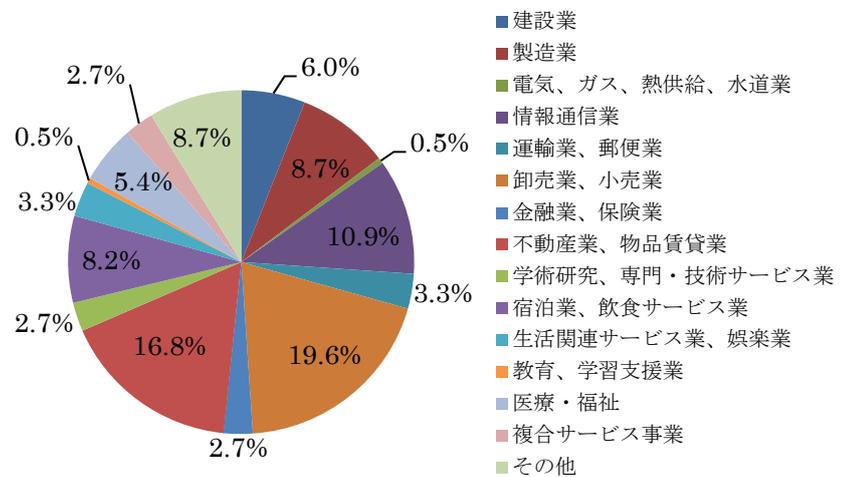


※回答に基金償却積立金を含む。

### 4 業種

最も多かった業種は、「卸売業、小売業」の36社（19.6%）、次いで「不動産業、物品賃貸業」の31社（16.8%）であった。

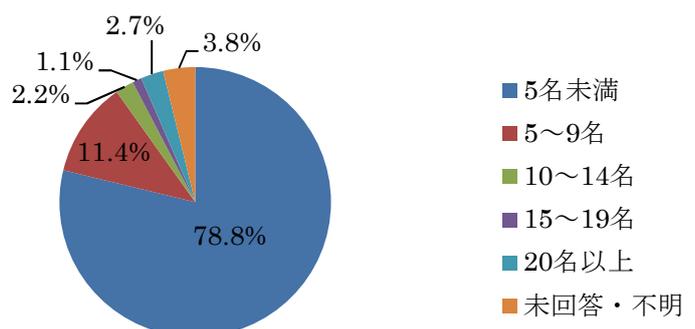
業種	回答数
建設業	11
製造業	16
電気、ガス、熱供給、水道業	1
情報通信業	20
運輸業、郵便業	6
卸売業、小売業	36
金融業、保険業	5
不動産業、物品賃貸業	31
学術研究、専門・技術サービス業	5
宿泊業、飲食サービス業	15
生活関連サービス業、娯楽業	6
教育、学習支援業	1
医療・福祉	10
複合サービス事業	5
その他	16
合計	184



### 5 現在の明海大学卒業生の在籍者数

最も多かったのは「5名未満」の145社（78.8%）、次いで「5～9名」の21社（11.4%）であった。回答のうち、卒業生在籍者数が最も多かった企業は、73名（東京都／不動産業、物品賃貸業）であった。

卒業生在籍者数	回答数
5名未満	145
5～9名	21
10～14名	4
15～19名	2
20名以上	5
未回答・不明	7
合計	184



## II 調査項目

### 1 採用に当たってどのような点を重視しますか。

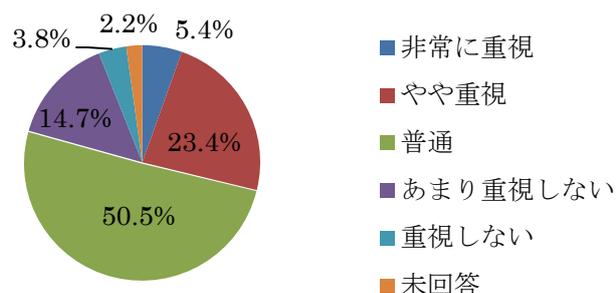
「学力（専門・基礎）」・「職務能力の適性」・「人間性（積極性・協調性など）」の3項目について、企業が最も重視しているのは、「人間性（積極性・協調性など）」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて180社（97.8%）が重視していることがわかった。次に挙げられたのは、「職務能力の適性」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて148社（80.4%）が重視していることがわかった。

一方で、「学力（専門・基礎）」については「普通」が最も多く、「あまり重視しない」・「重視しない」と合わせて127社（69.0%）であった。

以上の傾向は昨年と変わらないため、「学力（専門・基礎）」はもちろんのこと、学生にいかん「人間性（積極性・協調性など）」や「職務能力の適性」を身に付けさせるかが、採用時に求められる要素につながってくるものと思われる。

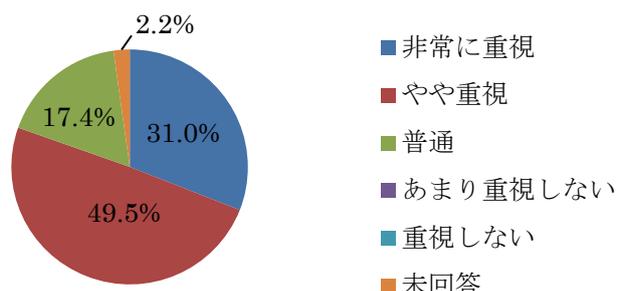
#### (1) 学力（専門・基礎）

学力	回答数
非常に重視	10
やや重視	43
普通	93
あまり重視しない	27
重視しない	7
未回答	4
合計	184



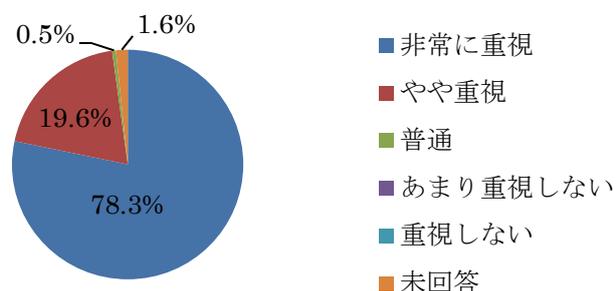
#### (2) 職務能力の適性

職務能力の適性	回答数
非常に重視	57
やや重視	91
普通	32
あまり重視しない	0
重視しない	0
未回答	4
合計	184



#### (3) 人間性（積極性・協調性など）

人間性	回答数
非常に重視	144
やや重視	36
普通	1
あまり重視しない	0
重視しない	0
未回答	3
合計	184



#### (4) その他（自由記入）

採用に当たって重視する点として、次の回答等があった。

同様意見 21件 コミュニケーション能力

同様意見 12件 チームワーク、協調性等他者との関り

同様意見 11件 人間性、人柄

同様意見 9件 企業理念、仕事研究/主体性、自発性

同様意見 6件 向上心/積極性/素直さ

同様意見 5件 成長意欲/社風や在籍中の社員とのマッチ度/誠実、真面目、正直/挑戦力

同様意見 4件 バイタリティ、やる気、意欲/柔軟性な対応/語学力（日本語、英語、タイ語等言語は様々）  
/ストレス耐性

- 同様意見 3 件 明るい、元気／あいさつ／人と関わることが好きか／会社への志望度、長く務める気持ちがあるか／思考力、考え方
- 同様意見 2 件 モチベーション／継続力／自立心／身だしなみ／忍耐力／チャレンジ精神、好奇心／集団適応力／スポーツ経験、体力があるか／一般常識、ビジネスマナー
- 以下、各 1 件 宅地建物取引士資格／IT 業界への興味／教育に対する熱意／仕事に対する意識／探求心／社会性／問題解決力／遂行する能力／技術職の適性／優秀な方／一生懸命な人／笑顔／アンテナ感度、柔軟性、論理的思考力など／過去の経験を他責にするか自責にするか／学生時代に積極的に身に付けた能力や知識／就職活動を行うにあたっての軸

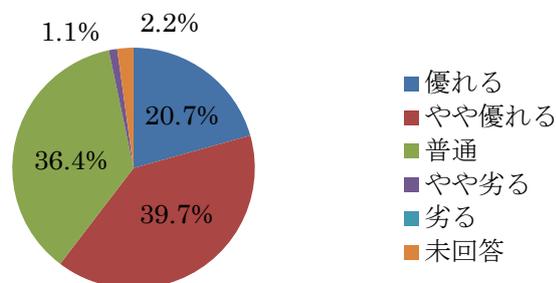
## 2 明海大学の卒業生の印象について、どのように評価されていますか。

明海大学の卒業生の印象については、調査項目 8 領域のうち 6 領域で「優れる」・「やや優れる」が過半数を占めた。最も高い評価を得たのは「コミュニケーション能力」で、「優れる」・「やや優れる」を合わせて 149 社 (81.0%) から回答があった。それと並ぶように「責任感・粘り強さ・誠実性」146 社 (79.3%)、「対人関係、仕事の協調性」145 社 (78.8%) から「優れる」・「やや優れる」という回答があった。

一方、「普通」・「やや劣る」・「劣る」との回答が多かった領域は「外国語（英語など）の能力」（普通 99 社・やや劣る 21 社・劣る 6 社）、「パソコン操作等の能力」（普通 103 社・やや劣る 2 社）であった。この 2 領域においては、実践に即した能力の強化が今後も継続して必要である。

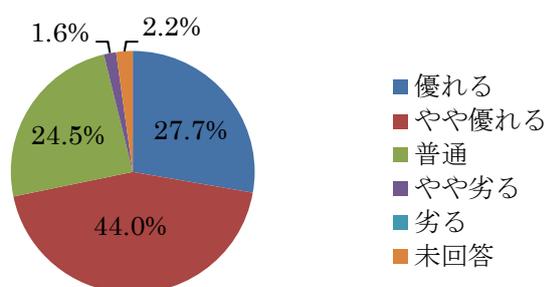
### (1) 仕事に対する知識・基礎学力

知識・基礎学力	回答数
優れる	38
やや優れる	73
普通	67
やや劣る	2
劣る	0
未回答	4
合計	184



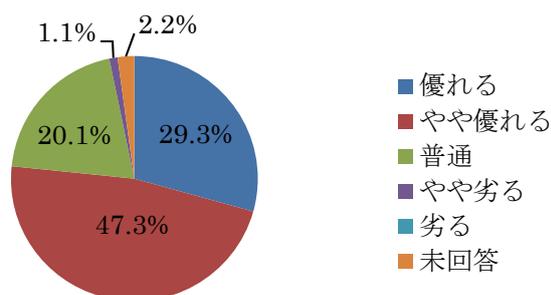
### (2) 仕事に対する理解・判断力

理解・判断力	回答数
優れる	51
やや優れる	81
普通	45
やや劣る	3
劣る	0
未回答	4
合計	184



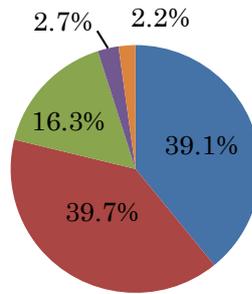
### (3) 仕事に対する職務遂行能力

職務遂行能力	回答数
優れる	54
やや優れる	87
普通	37
やや劣る	2
劣る	0
未回答	4
合計	184



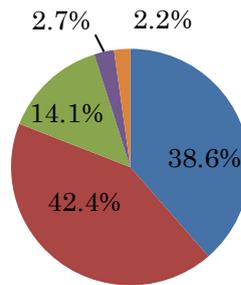
(4) 対人関係、仕事の協調性

対人関係、協調性	回答数
優れる	72
やや優れる	73
普通	30
やや劣る	5
劣る	0
未回答	4
合計	184



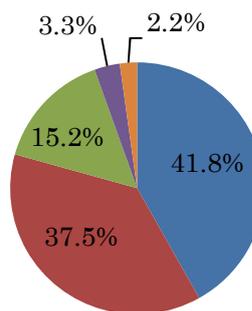
(5) コミュニケーション能力

コミュニケーション能力	回答数
優れる	71
やや優れる	78
普通	26
やや劣る	5
劣る	0
未回答	4
合計	184



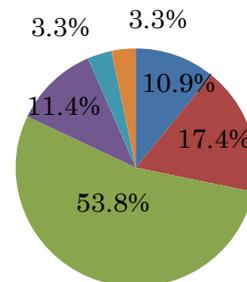
(6) 責任感・粘り強さ・誠実性

責任感・粘り強さ・誠実性	回答数
優れる	77
やや優れる	69
普通	28
やや劣る	6
劣る	0
未回答	4
合計	184



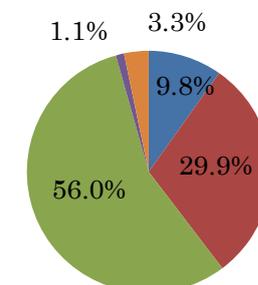
(7) 外国語（英語など）の能力

外国語の能力	回答数
優れる	20
やや優れる	32
普通	99
やや劣る	21
劣る	6
未回答	6
合計	184



(8) パソコン操作等の能力

パソコン操作等の能力	回答数
優れる	18
やや優れる	55
普通	103
やや劣る	2
劣る	0
未回答	6
合計	184



(9) その他（自由記入）

明海大学の卒業生の印象について、次の回答等があった。

同様意見 10 件 真面目、真摯に取り組む

同様意見 8 件 素直／コミュニケーションスキルが高い

同様意見 7 件 コツコツと努力する、ひたむきに業務に取り組む

同様意見 6 件 明るい／基礎知識がある（不動産、ホスピタリティ）

同様意見 5 件 誠実／積極的／責任感が強い／有資格者（宅地建物取引士）

同様意見 4 件 一生懸命

同様意見 3 件 協調性がある／人間性が豊か／適応力がある／成長意欲あり／職務遂行能力が高い／周囲とも上手に溶け込んでいる

同様意見 2 件 向上心がある／マナー、礼儀正しさ／相手の意図を汲み取る力が高い

以下、各 1 件 挨拶もきちんとできる／元気／勢い／穏やか／気配り／控えめ／セールス向き／客先からも評価が高い／効率化を求めながら働く／重要な戦力／大きく活躍／リーダーシップがある／店舗、本社の評価共に高評価／忍耐強く仕事に取り組んでいる／お客様へ接する態度も申し分ございません／留学生の評価は高い／新卒生は皆素晴らしく感じていますので大切に育てます!!／率先して社内の DX 化に努めている／のびのびと大学生活を過ごしている印象があります／部署売上 No2 の好成績を毎月出すなど大活躍中です／部署の中心として、欠かせないメンバー／部長職に就いている社員や、会社の顔として採用パンフレットに起用されている社員もおり、会社にとって欠かせない存在／目上のお客様やスタッフに対しても、正しいビジネスマナーで業務にあたる事ができています。他の同期社員や、学生さんに対しても模範となる安定感があります。



## ■浦安市内企業アンケート傾向分析【2021～2023 年度】

### 目的

浦安市内の企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：浦安市内に本社がある企業

(求人実績企業・OBOG 在籍企業・企業訪問記録登録企業)

調査方法:調査対象企業に調査内容及び回答用 QR コードを記載した往復はがきを送付し、はがき及び web 回答フォームで回収した。

	2023 年度	2022 年度	2021 年度
発送数 a	67	82	74
住所不明 b	1	3	15
回収数 c	22 (はがき 13+web9)	31	10
回収率 c/(a-b)	33.3% (はがき 19.7% web13.6%)	39.2%	16.9%

### 結果の概要

- ・回答企業のほとんどが従業員数 500 人未満の中小企業で、2022 年度同様に「医療・福祉」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に 9 割を超える企業が「人間性」を重視している。「職務能力の適性」について、これまでは「非常に重視・やや重視」が 7 割以上を占めていたが、2023 年度は「非常に重視」する企業が増える一方で、「普通・あまり重視しない」とする企業も増え、回答が分散した。
- ・本学の教育内容に求めることについては、「チームワーク・リーダーシップ」が昨年に引き続き上位にきているが、2023 年度は「問題解決力」が最も多かった。

### 分析・対策等

- ・企業が最も重視する人間性を育むため、低学年から行っている基礎教育、人間力形成教育及びキャリア形成教育に注力することが重要である。
- ・採用に当たって学力を重視する企業もあり、採用選考時に SPI 等筆記試験を課す企業も多いことから、継続して低学年からの基礎学力の強化が必要である。
- ・教育内容に求めることについてのアンケート結果から、多様化する社会で活躍する人材を輩出するためには、「問題解決力」「チームワーク・リーダーシップ」といった機械や AI では代替できない力を在学中に伸ばすことが重要である。

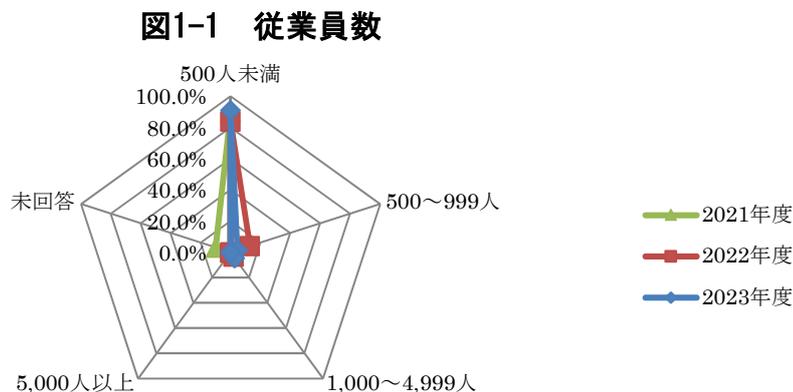
### 詳細

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

# 1 企業情報

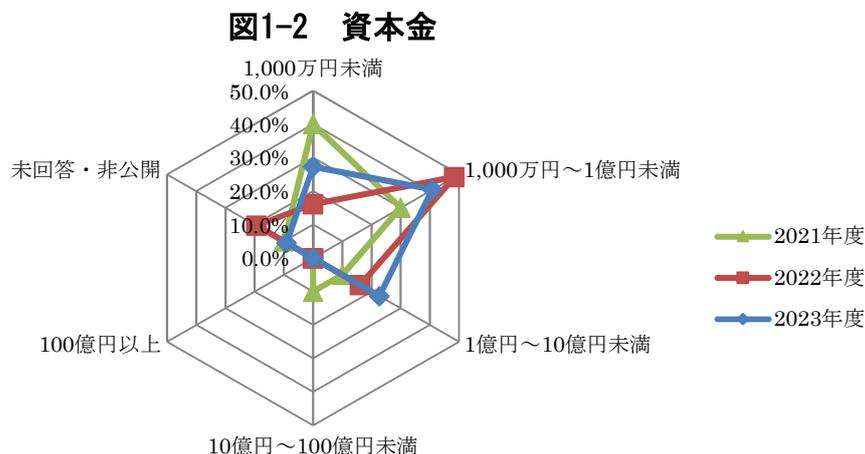
## (1) 従業員数

2023年度は、過年度と同様に従業員数「500人未満」の企業が最も多かった。(図1-1)



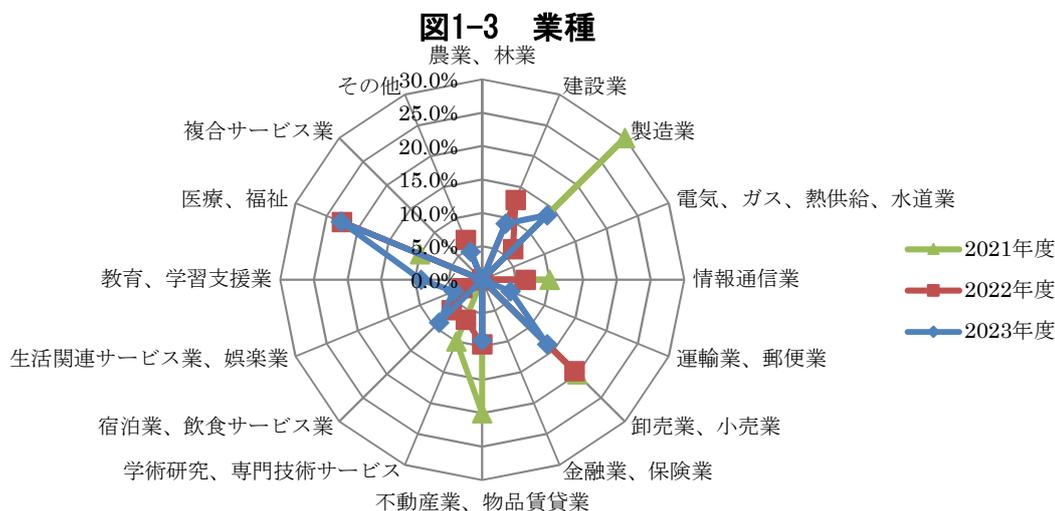
## (2) 資本金

2023年度は、資本金「1,000万円~1億円未満」の企業が最も多かった。(図1-2)



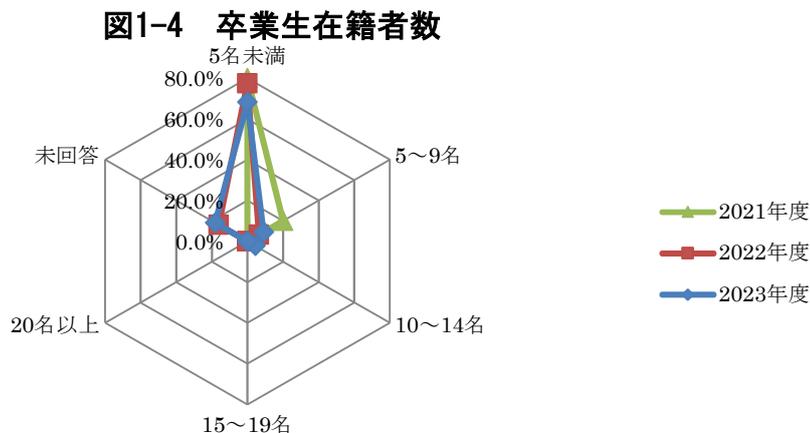
## (3) 業種

昨年度と比べ、2023年度は「製造業」「運輸業、郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育・学習支援業」からの回答が増えた。また、「医療・福祉」は過年度と同様に回答が多かった。(図1-3)



(4) 卒業生在籍者数

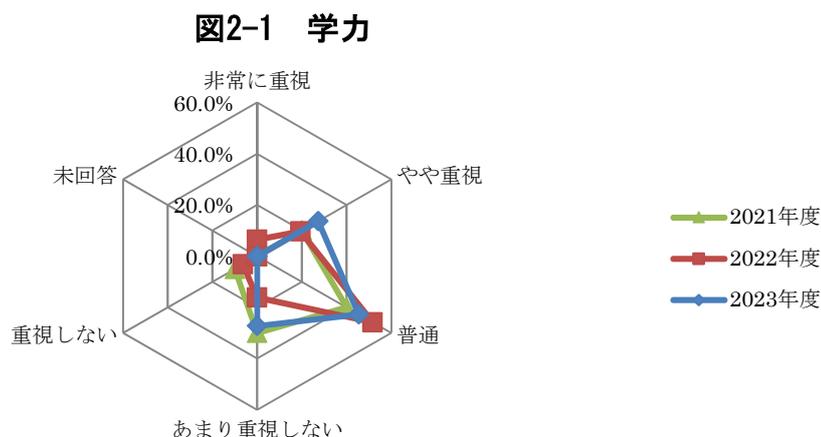
2023 年度は、過年度と同様に「5 名未満」の企業が最も多く、7 割弱を占めた。(図 1-4)



2 採用に当たって重視する点

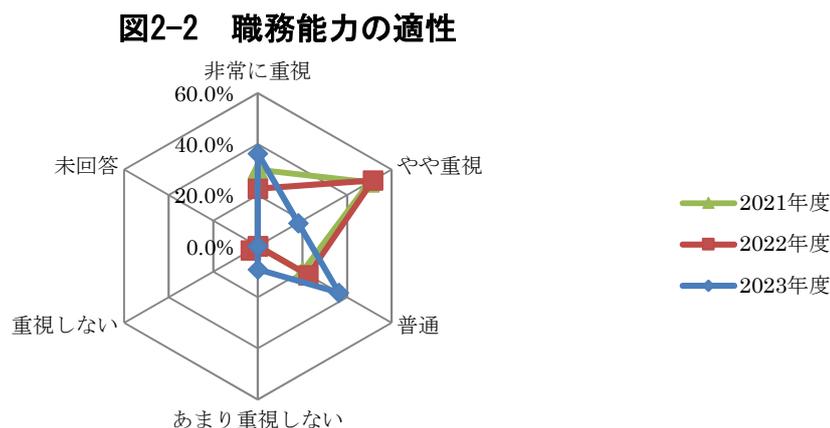
(1) 学力 (専門・基礎)

2023 年度回答企業の 7 割以上が、「非常に重視・やや重視・普通」と回答した。2021 年度は「普通・あまり重視しない・重視しない」が 8 割を超えていたため、この 2 年間については学力をやや重視している傾向にあることがわかる。(図 2-1)



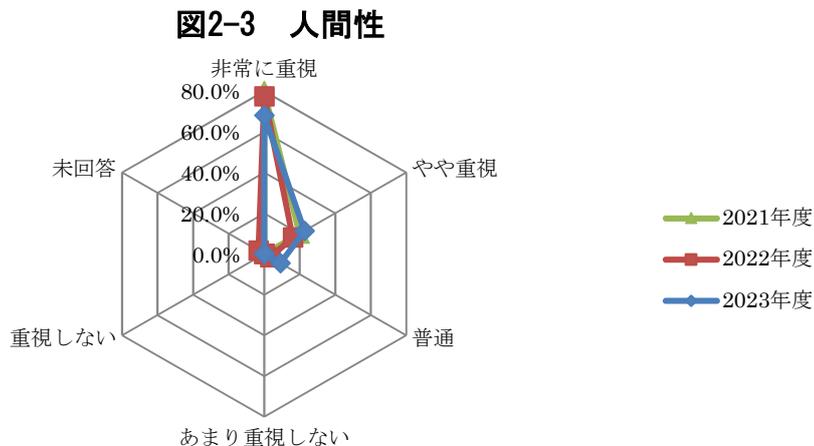
(2) 職務能力の適性

これまでは「非常に重視・やや重視」が 7 割以上を占めていたが、2023 年度は「非常に重視」する企業が増える一方で、「普通・あまり重視しない」とする企業も増え、回答が分散した。(図 2-2)



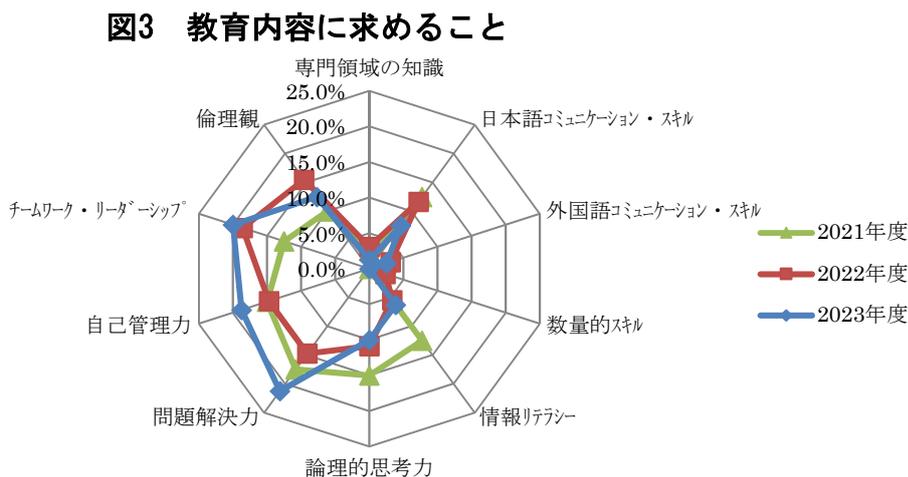
(3) 人間性（積極性・協調性など）

2023年度も、9割以上の企業が人間性を「非常に重視・やや重視」しており、過年度と同様に採用に当たって最も重視する傾向にある。（図2-3）



3 明海大学の教育内容に求めること

2023年度は、「問題解決力」が最も多く、次に「チームワーク・リーダーシップ」だった。特に「問題解決力」は昨年から大きく伸びており、注目度が高いことが伺える。（図3）



4 添付資料

明海大学生に関するアンケート調査集計結果（2023年度）

明海大学生に関するアンケート調査集計結果（2023 年度）

1 発送対象等

浦安市内に本社がある企業 67 社（求人実績企業・OBOG 在籍企業・企業訪問記録登録企業）

2 発送数・回収状況等

発送数 a	67
住所不明 b	1
回収数 c	22
回収率 c/(a-b)	33.3%

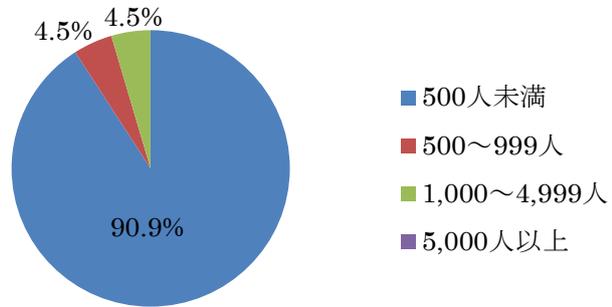
I 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1 従業員数

従業員規模別では、「500 人未満」が最も多く 20 社（90.9%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、4 人（生活関連サービス業、娯楽業）で、最も多かったのは 4,243 人（医療、福祉）であった。

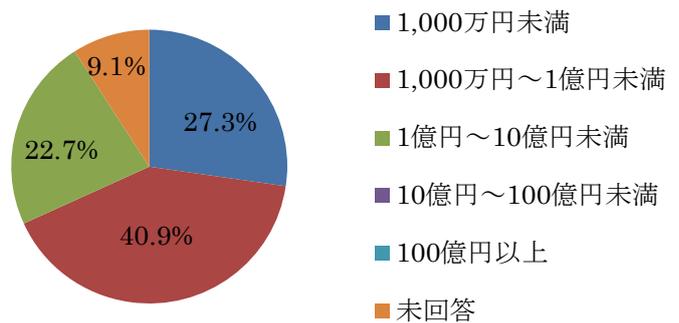
従業員数	回答数
500 人未満	20
500～999 人	1
1,000～4,999 人	1
5,000 人以上	0
合計	22



2 資本金

資本金規模別では、「1,000 万円～1 億円未満」が最も多く 9 社（40.9%）、次いで「1,000 万円未満」の 6 社（27.3%）であった。回答のうち、資本金の最大額は 2 億 4 千万円（卸売業、小売業）であった。

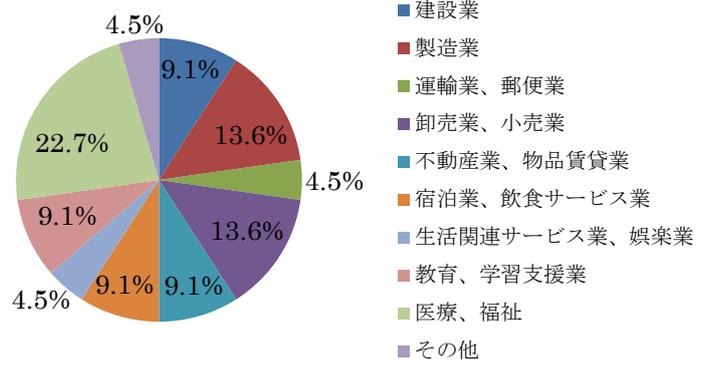
資本金	回答数
1,000 万円未満	6
1,000 万円～1 億円未満	9
1 億円～10 億円未満	5
10 億円～100 億円未満	0
100 億円以上	0
未回答	2
合計	22



### 3 業種

業種については、9業種に分布が見られた。最も多かった業種は、「医療、福祉」の5社（22.7%）であった。

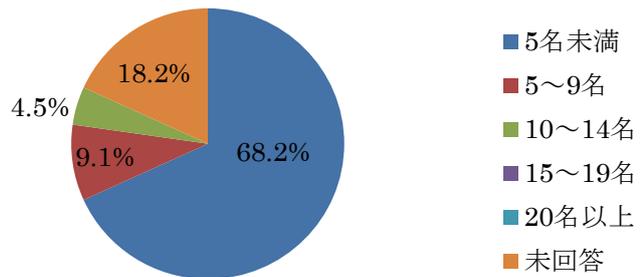
業種	回答数
建設業	2
製造業	3
運輸業、郵便業	1
卸売業、小売業	3
不動産業、物品賃貸業	2
宿泊業、飲食サービス業	2
生活関連サービス業、娯楽業	1
教育、学習支援業	2
医療、福祉	5
その他	1
合計	22



### 4 現在の明海大学卒業生の在籍者数

最も多かったのは「5名未満」の15社（68.2%）であった。回答のうち、卒業生在籍者数が最も多かった企業は、11名（運輸業、郵便業）であった。

卒業生在籍者数	回答数
5名未満	15
5～9名	2
10～14名	1
15～19名	0
20名以上	0
未回答	4
合計	22



## II 調査項目

### 1 採用に当たってどのような点を重視しますか。

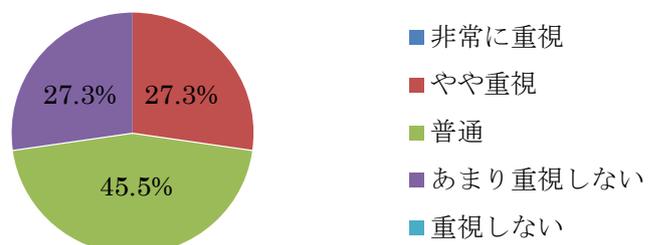
「学力（専門・基礎）」・「職務能力の適性」・「人間性（積極性・協調性など）」の3項目について、企業が最も重視しているのは、「人間性（積極性・協調性など）」で、9割を超える企業から「非常に重視」・「やや重視」との回答があった。次に挙げられたのは、「職務能力の適性」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて12社（54.6%）が重視していることがわかった。

一方で、「学力（専門・基礎）」については、「普通」が最も多く、「あまり重視しない」・「重視しない」と合わせて16社（72.8%）であった。

「学力（専門・基礎）」はもちろんのこと、学生にいか「人間性（積極性・協調性など）」や「職務能力の適性」を身に付けさせるかが、採用時に求められる要素につながってくるものと思われる。

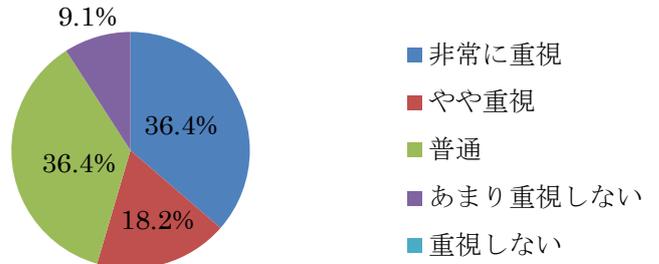
#### (1) 学力（専門・基礎）

学力	回答数
非常に重視	0
やや重視	6
普通	10
あまり重視しない	6
重視しない	0
合計	22



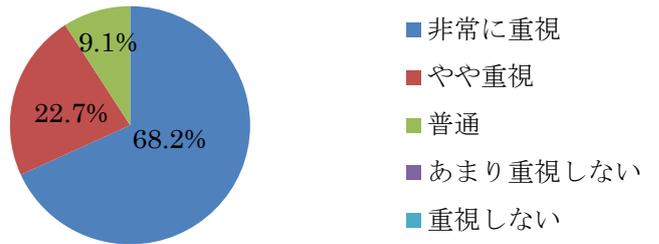
(2) 職務能力の適性

職務能力の適性	回答数
非常に重視	8
やや重視	4
普通	8
あまり重視しない	2
重視しない	0
合計	22



(3) 人間性（積極性・協調性など）

人間性	回答数
非常に重視	15
やや重視	5
普通	2
あまり重視しない	0
重視しない	0
合計	22



(4) その他（自由記入）

採用に当たって重視する点として、次の回答があった。

- ・ 協調性、コミュニケーション力
- ・ 誠実さ、真面目さ、実直さ
- ・ 人柄（思いやりやホスピタリティを大切にできるか）。コミュニケーション能力。
- ・ 人間性と努力協調性のバランス。
- ・ 入社いただいた時のイメージ。今いる社員とうまくやっていけるか。
- ・ 取引先の担当者の懐へ入っていけるかどうか（気に入られるか）
- ・ 最低限のコミュニケーション能力

2 明海大学の教育内容に求めることは何ですか。（複数回答可）

本学の教育内容に求めることで「問題解決力」を挙げた企業が17件（回答企業の77.3%）と最も多く、次いで「チームワーク・リーダーシップ」の16件（回答企業の72.7%）であった。一方で最も少なかったのは「数量的スキル」の0件であった。

回答	回答数
専門領域の知識	1
日本語コミュニケーション・スキル	6
外国語コミュニケーション・スキル	2
数量的スキル	0
情報リテラシー	5
論理的思考力	8
問題解決力	17
自己管理能力	15
チームワーク・リーダーシップ	16
倫理観	10

